



40歳になったら検便で、
毎年大腸がん検診を受診しよう

県内死亡順位の高いがん(2023年) (単位:人)

	1位	2位	3位	4位以下	計	男女合計
男性	肺 493	大腸 305	胃 131	その他 1,115	2,044	3,404
女性	大腸 225	乳房 169	肺 167	その他 799	1,360	

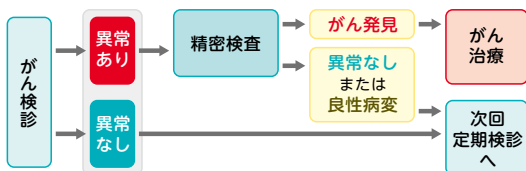
出典:2023年厚生労働省人口動態統計(県集計)

国が推奨する5つのがん検診項目

種類	対象者	受診間隔	検査項目
大腸がん検診	40歳以上	年1回	便潜血検査(検便)
胃がん検診	50歳以上	2年に1回	胃X線(バリウム)検査※1または胃カメラ
肺がん検診	40歳以上	年1回	胸部X線検査および喀痰細胞診
乳がん検診	40歳以上	2年に1回	マンモグラフィ検査
子宮頸がん検診	20歳以上	2年に1回	子宮頸部の細胞診
	30歳以上	5年に1回	HPV検査単独法※2

※1 当分の間40歳以上、年1回実施も可
※2 実施体制が整った自治体で選択可能

がん検診の基本的な流れ



大腸がん検診で一度でも陽性になった場合は、検便ではなく、精密検査(大腸内視鏡検査等)を受けることが大切です。



(職場検診でがん検診を実施している場合は、職場のがん検診を受けてください。)

がん検診の効果は精密検査まで受けてこそ！

検診後、「要精密検査」と判定された場合、早期発見のチャンスを見逃さず、必ず適切な精密検査を受けてください。

がん検診の結果を持参すれば、保険適用で受けることができます。

県では、がん検診の精密検査について一定の条件を満たす医療機関を「沖縄県がん検診精密検査協力医療機関」として県ホームページで公表しています。

問い合わせ

健康長寿課

電話: 098-866-2209
FAX: 098-866-2289



各市町村がん検診窓口



沖縄県がん検診精密検査協力医療機関

表紙

● ファミマ出口に置かれていた真っ赤な表紙、デイゴの花に目を引かれて取りました。

特集:令和7年度当初予算のあらまし

● 今年は県がどういったことに注力し、予算を分配するのか可視化されており、日々の暮らしの中でどこでどう直結するのか自分なりに考えることができ、それが面白かったと思いました。

記憶と未来のタイムマシン(遊び編)

● 沖縄生まれのカードゲーム「ハイスイゴヤーハブシーサー」というのがあり初めて知った。楽しそうなので、やってみようと思った。

Fun Fan Local (本部町)

● 「アンモナイトがみつかる浜がある」とは知らなかった。子供に話して休日に探しに行こうかと思う。面白い！

県の動き:ギャンブル等依存症を

知っていますか?

● ギャンブル依存症は「本人の意思の弱さではなく、欲求をコントロール出来なくなる、誰でもなりうる病気」ということには、びっくりしました。

取り戻そう健康長寿沖縄

● タバコの危険性について改めて学びました！長寿県沖縄を取り戻したいので、食品添加物・環境問題・農業・化学物質など自然に近い生活を心がけていきたいです！

「美ら島沖縄」のバックナンバーは、県のホームページをご覧ください。



美ら島沖縄

「美ら島沖縄」のアンケートに回答いただいた内容から一部抜粋して掲載しています。アンケートについては、10ページをご覧ください。

